【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2010-505148(P2010-505148A)
【公表日】平成22年2月18日(2010.2.18)
【年通号数】公開・登録公報2010-007
【出願番号】特願2009-530555(P2009-530555)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/04　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/14　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　27/28　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　11/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　163/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｇ０２Ｂ　5/04　Ｂ
Ｇ０２Ｂ　5/04　Ｄ
Ｇ０２Ｂ　5/04　Ｅ
Ｇ０３Ｂ　21/14　Ｚ
Ｇ０２Ｂ　27/28　Ｚ
Ｃ０９Ｊ　11/06
Ｃ０９Ｊ　163/00

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月2日(2010.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリマーベースの偏光フィルムと、該偏光フィルムの上に配置される接着層と、該接着層の上に配置される第１の光学素子と、を備える偏光ビームスプリッタであって、該接着層が、結晶化を抑制する第１の可塑剤成分を、該偏光フィルムの光学アーチファクトの原因となる（ｉ）結晶性ドメイン、（ｉｉ）粒子、又は（ｉｉｉ）それらの組み合わせの生成を抑制するのに有効な量で含む、偏光ビームスプリッタ。
【請求項２】
前記接着層に第２の可塑剤成分を更に含み、前記第１の可塑剤成分及び第２の可塑剤成分が、グリコール、例えばエチレングリコール、ポリプロピレングリコール、ジ（エチレングリコール）エチルエーテル及びトリエチレングリコールと、芳香族又は脂肪族エステル、例えば、ジ（２－エチルヘキシル）アジパート及びジ（エチレングリコール）ベンゾエートと、水とからなる群由来である、請求項１に記載の偏光ビームスプリッタ。
【請求項３】
前記接着剤が、多官能性又は１官能性、芳香族又は脂肪族のアルコール又はアミンを含有する硬化剤と共に、多官能性又は１官能性、芳香族又は脂肪族のエポキシ樹脂からなる群由来である、請求項１に記載の偏光ビームスプリッタ。
【請求項４】

前記接着剤に含まれる前記第１の可塑剤成分の量が、前記接着層の約１～５重量パーセントの間で変化する、請求項１に記載の偏光ビームスプリッタ。

【請求項５】

結晶化を抑制する可塑剤成分を、隣接するポリマーベースの光学素子の光学アーチファクトの原因となる（ｉ）結晶性ドメイン、（ｉｉ）粒子、又は（ｉｉｉ）それらの組み合わせの生成を抑制するのに有効な量で含む、透明接着剤組成物。